

## 農薬及び農薬類似化合物の情報 (ピレトリン)

### 1 一般名：ピレトリン（除虫菊）

ピレトリン (pyrethrins) は、シロバナムシヨケギクの花に含有される殺虫成分の総称。天然物由来のピレスロイド系殺虫剤。有効成分は、ピレトリンⅠ、ピレトリンⅡ、シネリンⅠ、シネリンⅡ、ジャスモリンⅠ、ジャスモリンⅡの6成分。

### 2 農薬登録状況

- ・我が国では昭和23年に農薬登録。きゅうり、なす、キャベツ、はくさい、いちご、トマト、茶等のアブラムシ類、アザミウマ類、アオムシ等に対して適用。
- ・ピレトリンは世界各国で農薬として使用。

### 3 我が国での残留基準（抜粋）（単位：ppm）

食品名	米	大豆	キャベツ	トマト	なす	きゅうり	いちご	りんご
基準値	3	1	1	1	1	1	1	1

注) 基準値はピレトリンⅠ及びピレトリンⅡの和

### 4 動態及び残留性

#### (1) 植物体

植物体内への取り込みは極めて少なく、植物体表面において急速な光分解を受ける。(FAO/WHO合同残留農薬専門家会議 2000)

#### (2) 土壌中の動態

土壌半減期：1日未満（ピレトリンⅠ供試、容器内試験、洪積土壌・沖積土壌）

#### (3) 光分解

光により速やかに分解（太陽光下での半減期は10-12分）。

### 5 安全性評価（FAO/WHO合同残留農薬専門家会議 2003）

#### (1) 慢性毒性（食べ続けると健康に悪影響）

- ・ADI（許容一日摂取量；毎日一生食べ続けても健康に悪影響がでない量）  
0.04 mg/kg bw/day
- ・設定根拠  
ラットの慢性/発がん性試験、経口：NOAEL(無毒性量) = 4 mg/kg bw/day  
安全係数 100

#### (2) 急性毒性（一日の摂取で健康に悪影響）

- ・ARfD（急性参照量；一日ここまで経口摂取しても健康に悪影響が出ない量）  
0.2 mg/kg bw/day
- ・設定根拠  
ラットの急性神経毒性試験、経口：NOAEL(無毒性量) = 20 mg/kg bw/day  
安全係数 100